



第46回新潟県消防職員意見発表会 対面式で3年ぶりの開催

2月3日（金）に、新潟県消防長会（事務局 新潟市消防局 企画人事課）の主催により第46回新潟県消防職員意見発表会が開催されます。対面式の開催は令和元年度以来3年ぶりとなります。本発表会は、消防業務の諸問題に関するより一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的として、県内各地区から推薦された消防職員が、業務に対する提言や取組むべき課題等について自由に発表するものです。

最優秀賞受賞者は、宮城県仙台市において開催される、全国消防長会東北支部消防職員意見発表会に出場します。

新潟市消防局からは東消防署 吉原 司（よしはら つかさ）消防士長が新潟市代表として出場します。

つきましては、本発表会を取材のうえ、広く広報していただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。



※令和元年度発表会

記

- 1 日 時 令和5年2月3日（金）午後2時30分から午後4時20分まで
（成績発表は、午後4時05分頃から）
- 2 場 所 新潟東映ホテル 2階「朱鷺の間」
新潟市中央区弁天2丁目1-6
- 3 発表者等 裏面のとおり

【問い合わせ先】

新潟市消防局企画人事課企画係

担当 若月・高橋

電話 025-288-3210（直通）

消防職員意見発表者及びテーマ

順番	所属消防本部	階級	氏名	テーマ及び要旨
1	燕・弥彦総合事務組合消防本部	消防士長	井木 竜一	《ピクトグラムを用いた防災教育》 幼児期・外国人労働者の共通点は言葉の伝わりにくさがあるため、ピクトグラムを用いた防災教育について提案します。
2	五泉市消防本部	消防士	関川 啓太	《市民との認識のずれ》 危険物に対して、消防と市民の間に認識のずれがあると感じる。それを自助・共助・公助の観点からなくす取組について。
3	長岡市消防本部	消防副士長	高橋 幹久	《現場活動DX化》 災害現場での隊員の安全確保や効率的な現場活動を展開するために、デジタル技術の導入を推奨するものです。
4	糸魚川市消防本部	消防士	若松 洋平	《市民と歩む街づくり》 学童期から消防や救急に関する教育を実施することで、全市民が行動し、消防との連携を図ることで安全安心な街づくりを目指す。
5	新潟市消防局	消防士長	吉原 司	《AIロボットとともに高齢者を守る未来》 住宅火災における高齢者の死傷者をいかに減らすかという現代社会の課題に対する次の一手として、AIロボットの開発を提案する。
6	新発田地域広域事務組合消防本部	消防士長	北見 和輝	《住宅火災減少への次なる一手》 近年の住宅火災の出火原因は、電気火災が増加傾向にある。減少への一手として、電気事業者と連携した広報活動を提案する。
7	佐渡市消防本部	消防士	村上 美涼	《消防お仕事セミナー》 多くの女性に、私たち女性消防職員にしか伝えられないことを伝えるとともに、誰もが働きやすい職場環境を目指すものです。
8	南魚沼市消防本部	消防副士長	笹木 裕次	《市民の救急要請技術の向上に向けて》 年間の119番件数の約7割を占める救急要請。多種多様化する救急要請の技術向上が救命の連鎖の鍵になると考えました。
9	三条市消防本部	消防士長	渡邊 拓哉	《みんなでまなぼう きんきゅうじどうしゃ》 一般ドライバーと消防間の緊急走行に関する認識の齟齬を無くし緊急自動車が関与する事故の低減を目指す取組について提案します。
10	阿賀野市消防本部	消防士	瀧澤 良幸	《消防団員の未来のために》 若者が人回りたいと思える消防団を、彼らの目線と考え、より良い消防団活動を目指し消防操法大会に一石を投じます。

意見発表者プロフィール

- 消防士長 井木 竜一
(燕・弥彦総合事務組合消防本部)



平成23年4月に消防士を拝命、令和4年4月に救急救命士免許を取得し、現在、救急隊の他、消防隊員として現場の第一線で活躍しています。責任感が強く職務に対し真摯に取り組み姿勢は上司や同僚からの信頼も厚く、高い評価を得ています。
- 消防士 関川 啓太
(五泉市消防本部)



平成29年4月消防士を拝命。現在は、救助隊員として引継ぎや修繕に積極的に取り組み災害現場の最前線で活躍。また、予防課指導係員として業務にあたり、危険物に関する指導及び取締に関する業務を行っています。責任感が強く努力家で同僚からの信頼も厚く、上司から組織の未来を担う職員として期待されています。
- 消防副士長 高橋 幹久
(長岡市消防本部)



平成29年に消防士を拝命し、明朗快活な性格で責任感が強く、何事にも真摯に向き合う姿勢は、上司からの信頼も厚く、後輩職員の良き模範となっています。現在は、救助隊員として災害現場の第一線で活躍しており、将来を有望視された期待の若手職員です。
- 消防士 若松 洋平
(糸魚川市消防本部)



平成30年4月に消防士を拝命し、5年目を迎えた責任感旺盛な伸び盛りの職員です。消防士を拝命する前は中隊隊員としての経歴を持ち、これまでに培った知識と経験を活かし、日々職務に精励する将来有望な職員です。
- 消防士長 吉原 司
(新潟市消防局)



平成26年に消防士を拝命し、現在は東消防署予防調査係で主に危険物施設の規制事務を担当しています。誠実で分かりやすい市民対応と、何事にも真摯に取り組み姿勢は後輩職員の模範となり上司や同僚からも高い信頼を得ています。また、家庭では2児の良き父親であり、家族を大切にする懐かしい人柄です。
- 消防士長 北見 和輝
(新発田地域広域事務組合消防本部)



平成21年に消防士を拝命。現在は、分隊長及び機関士として日夜災害対応に当たっています。プライベートでは、三児の父として子育てに奮闘中です。消防本部予防課、通信指令室といった部署も経験、常に冷静に物事を判断し、仕事に取り組み姿勢は上司・部下からの信頼も厚く、今後の活躍が期待される職員です。
- 消防士 村上 美涼
(佐渡市消防本部)



平成30年4月1日付け、佐渡市消防本部に消防士として拝命以来5年、現在は庶務係として円滑な職務遂行にあたる一方、火災をはじめ、救急・救急等のあらゆる災害にも従事し、今年度は新潟県消防救助技術大会に出場するなど、前途有望な職員として期待されています。
- 消防副士長 笹木 裕次
(南魚沼市消防本部)



平成21年4月消防士を拝命。入職後は救助隊、救急隊を兼任し約10年間現場活動に従事する。その後平成31年から2年間通信指令室で勤務する。令和3年より消防隊、救急隊を兼任する現場勤務に異動し、現在は救助隊と救急隊を兼任している。現場活動、通信勤務両方の経験をもとに自分なりの意見を考え発表する。
- 消防士長 渡邊 拓哉
(三条市消防本部)



平成26年4月に消防士を拝命、令和2年から救急隊員に配属され令和4年には救急救命士免許を取得。現在は救急現場の第一線で精力的に業務に励んでいます。温厚実直な人柄と、何事においても真直に取り組み姿勢は職員の模範であり、組織の未来を担う職員として期待されています。
- 消防士 瀧澤 良幸
(阿賀野市消防本部)



平成26年に消防士を拝命、現在は通信指令室として、助けを求める人たちの声に、冷静な受答えで対応し速やかな行動を実現しています。性格は穏やかで物腰が柔らかいため、癒しを求め、彼の周りには人が集まります。しかし職務には真摯な姿勢と力を合わせ持ち、先輩後輩からの信頼が厚く将来を期待される職員です。